

## 事業計画書

	事業名	みんなで育て、みんなで作る 沿道での 食べられる景観事業
	団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム
事業概要		
沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」をつくり、クラフトでプランターを飾ることで、地域を楽しく歩き、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。(97字)		
取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>新型コロナウイルス感染予防のため、外出を控え、対面での交流を減らす等の対策がとられてきました。プロジェクトの中心地域である松戸三丁目東自治会でも各イベントが中止になっています。日本老年学的評価研究は、社会的孤立や閉じこもりが高齢者の健康リスクが高めることを指摘しています。ウィルス対策が長期化する中、いかに社会的距離を保ち、コミュニケーションがとれるかが今後の地域社会において、重要な課題と考えられます。</p> <p>私たちは、2016年より、コミュニケーションを促し、コミュニティの形成に寄与するとされる「食べられる景観」づくりを行ってきました。コロナ禍において沿道での園芸活動は、プランターをみて楽しむことができる、歩行を促し健康の維持に貢献できる、植物が育つ様子を見て、参加者の気配を感じることができると実感しております。</p> <p>沿道での園芸活動、植物を使ったものづくり活動を媒介にした対面・非対面コミュニケーションから、コロナ禍の地域において人のつながりが分断されない健康的な生活環境づくりに取り組みたいと考えています。</p>	
事業の目的	<p>野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりと沿道でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できる近所づきあいを増やすこと。また、育てた植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学ぶ機会や、多世代での交流の機会を作ること。そして、コロナ禍の地域において人のつながりが分断されない地域を目的としています。</p>	
事業内容	<p><b>1. 事業内容</b></p> <p>年間を通じて、参加者各家庭での沿道スペースを活用した食べられる植物を育てる園芸活動を行います。また、各講座、ワークショップ(1)(2)(3)は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、自治会館での実会場(定員の半数で利用)とオンラインセミナーツールである zoom を利用したオンライン会場の双方を活用し実施予定です。zoom を利用し、自治会館会場と各家庭を中継するため、インターネット設備のない松戸三丁目東自治会館にモバイル Wi-Fi を設置する予定です(6回開催予定・レンタル Wi-Fi 各回1泊2日)。</p> <p>また、各講座は、エディブルウェイの展開プロジェクトである岩瀬ハーブプロジェクト地域でも同時開催予定(岩瀬自治会館 Wi-Fi 設備あり)です。</p> <p>(1) プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動(4-5月・9-10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸知識のある会員が講師となり、苗の植え方講座を開き、野菜の育て方を学び、各自がプランターの植え替えを行う。必要に応じ、サポートする。</li> </ul> <p>(2) 子どもと一緒にクラフト・アートワークショップの開催(6・11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートの知識がある会員が講師となり、子ども会と協力し、プランターを飾るクラフトを作るワークショップを開催し、ものづくりを通じた学びの場、交流の場を設ける。</li> </ul>	

・お手製のクラフトを飾ることや、ものづくりを通して、子どもたちが、活動を知り、地域の環境や景観を学ぶことで、地域愛着を持ってもらえるようにする。また、クラフトで飾られたプランターを見て楽しみ、プランターへ目が行き届くようにし、イタズラ防止を図る。

**(3) ハーブクラフト講座 (7・12月)**

・知識がある会員が講師となり、大人向けにハーブを活用した講座を行い、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことで、活動への意欲向上と交流を進める。

**(4) 毎月の活動を千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループが発行する瓦版に掲載し、参加者に配布する。**

**(5) コミュニケーションと振り返りのため、収穫が終わった 8・2 月に参加者へ各シーズンの振り返りアンケートを実施し (メール・郵送)、取りまとめたレポートを作成し、参加者同士のコミュニケーション、情報共有を図る。**

**(6) 地域住民へ報告会 (3 月) を開催し、みんなで振り返りをし、次年度の目標をたて、新規参加者の巻き込みを図り、地域の活動として定着を目指す。**

**2. スケジュール**

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4-5 月・ 9-10 月	講座準備、告知、新規参加者・学生メンバー募集、 (1) 苗植え講座、植え替え	①実施体制：会員有志、②対象：EW 参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館、岩瀬自治会館、zoom
6 月・ 11 月	(2) クラフト・アートワークショップ開催	①会員有志、②EW 参加者、地域の小学生、③自治会館、zoom
7 月・ 12 月	(3) ハーブ講座開催	①会員有志、②EW 参加者、地域住民、③自治会館、zoom
2 月	振り返り・レポート作成	①会員有志、②会員
3 月	(5) 地域での報告会	①会員有志、②EW 参加者、地域住民、③自治会館、掲示板

既存の事業から  
ステップアップ  
する部分

事業の目標

・新しい参加者を募り、プランターの設置場所を増やし、沿道での緑のつながりが、より見えるようにする。(新規 10 箇所・20 個プランター目標)  
 ・コロナ禍で、人が集まる機会が減った地域において、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する。  
 ・植物を用いたイベントの開催を行い、学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識共有や組織づくりを進める。  
 ・年度の最後に、地域住民全体へ 1 年の活動報告、レポート掲示板掲載を行い、意見交換、新規参加者を募集し、より良い地域活動の継続を目指す。  
 ・毎月発行する瓦版へ活動報告を掲載し、地域の皆さんに賛同いただけるように、情報発信にも力を入れる。

今後の展望

・食べられる景観づくりを地域の景観、活動として定着させる。  
 ・コロナ禍においても人のつながりが分断されない健康的な生活環境のあり方を活動を通して地域の皆さんと考えていく。  
 ・植物を活用した活動を定期的、継続的なイベントとして定着させる。  
 イベントの企画運営へも参加者や住民が積極的に参加できるようにしたい。

## 事業の予算概要

【収入】

(単位:円)

	科目	金額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 24,000	(200円×20人)6回開催 (植え替え講座、クラフト・アートWS、ハーブ講座)各2回
	団体拠出金	¥ 18,000	対象事業費の一部及び対象経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 42,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額(C)=(A+B)		¥ 142,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 85,600	・フェルトプランター 500円*20個 10000円 ・土再生材 2L 250円*100袋 25000円 ・野菜苗 200円*30個 6000円 ・タネ 300*12袋 3600円 【クラフト・アートWS】 ・クラフト・アート材料 8000円*2回 16000円 (フェルト、ボンド、やすり、ペン、布材、インク類) 【ハーブを楽しむ講座】 ・花材 4000円*2回 8000円 ・道具(はさみ・ホットボンド)5セット 2000円 【瓦版印刷】 ・プリンタートナー4色セット 15,000円
	使用料及び賃借料	¥ 30,000	・自治会館使用料 2000円 * 6回 12,000円 ・zoom WS6回(6ヶ月)2000円/月*6 12,000円 ・モバイルWi-Fi(1泊2日 * 6回) 1000円*6回 6000円
	食糧費	¥ 18,000	・参加者お茶代(150*20人) * 6回
	通信運搬費	¥ 8,400	・振り返りアンケート回収用切手 84円*50世帯*2回(8・2月)
対象経費の合計(D)		¥ 142,000	
その他経費			
	その他経費の合計(E)	¥ 0	
合計額(F)=(D+E)		¥ 142,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。